

業務部速報

発信者》JREU

仙台地本業務部 / 湯ノ目

〒983-0852

仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3

TEL 022-297-0155

FAX 022-291-3070

JR 031-3981~3

FAX 031-3980

2018年 6月20日

申8号「JR東労組仙台地本第33回定期大会の発言等に基づく申し入れ」団体交渉

2018年6月20日10時から、申8号「JR東労組仙台地本第33回定期大会の発言等に基づく申し入れ」（2017年10月19日付申し入れ）団体交渉を行いました。今申し入れは、昨年7月地本大会と各支部大会の発言に基づき申し入れを行っています。詳細など、不明な点ございましたら、仙台地本業務部に連絡を下さい。

(1項)地方ローカル線を維持するための考え方を明らかにすること。また、活力ある職場づくりに向けて、地域との連携を強化すること。

(回答)当社は社会インフラを担う企業として、かつ地域の一員として、地域のあるべき未来を考え、行動していく考えである。これからも地域と力を合わせて、観光開発や地域産業の活性化、駅を中心としたまちづくりに取り組んでいく。

また、地方交通線については、他輸送モードも含め交通手段の確保に努めていく考えであり、赤字であるというだけでローカル線を廃止する考えはない。

【主な議論内容】

- ・「新たな30年を展望する施策実施に向けた確認メモ」を本部・本社間と同じ認識であることを確認。
- ・現時点において他輸送モードにすぐに転換することは考えていないが、効率的運用を進めていく。
- ・ワンマン運転に関して、運賃ほ脱防止、不正乗車の実態把握と実施状況、マナー指導の実施状況、ワンマン列車の安全対策(地上・トンネル、車上)の検証への問題提起。

【問題意識のみ交渉で投げかけ、今後、職場検証を含め行き、状況を踏まえ労使議論を行っていきたいと思います。】

- ・東北本線531系に車則カメラを搭載し試運転を行っているが、現時点においてすぐに他の車両に搭載する計画はない。

(2項)東日本大震災の教訓から防災・減災に関する全社員教育を行うこと。また、自らの命を守り、現場第一線で働く組合員の判断で乗客を避難させた場合等でも、結果について個人の責任ではなく会社が責任を持つこと。

(回答)各職場において津波対応マニュアルを作成し、教育・訓練を実施している。大地震が発生した場合には、安全綱領や津波避難行動心得に従った行動をとることとなる。

【主な議論内容】

- ・訓練においては、地区・系統・職場毎等で年1回以上行っている。
- ・この間の訓練の成果があり、2年前11月の避難対応などが出来ていて、課題もあるが成果がある。
- ・ハザードマップ等は安全企画室で、年1回程度チェック、津波被災線区走行車両にケミカルライトを今後搭載する。
- ・現時点において、地元との連携を行い、自治体からの要請で地元の方も参加し、防災訓練は行っている。(石巻線)
- ・現場の判断を優先し、責任は問わないことを確認しました。